

地域再生計画の事後評価

1. 地域再生計画の概要

計画名称	魅力ある漁業を目指した港づくり
作成主体	岡山県、倉敷市
計画区域	倉敷市の区域の一部(下津井港、児島港及び通生漁港)
計画期間	平成17～21年度
計画概要	<p>下津井港・児島港及び通生漁港は岡山県南部の倉敷市に位置しており、前面に多くの島々が点在し豊かな漁場である備讃瀬戸を有していることから、古くから活発な漁業活動が行われてきた。しかしながら干満差が大きく作業が重労働となっていたり、漁業者の高齢化や港内の静穏度が確保されていないなど種々の問題を抱えている。これらの問題に必要な施設を整備し軽労化、安全性の確保をおこない高齢者でも安心安全でかつ魅力ある産業へと再生し地域の一体的発展を図る。</p> <p>下津井港 児島港 → 防波堤、物揚場 通生漁港 → 防波堤</p>

2. 地域再生計画に記載した施設の整備状況

港名	整備計画	実績	評価
児島港	防波堤 L=140m	140m	計画通り実施できた
	物揚場 L=228m	228m	
下津井港	物揚場 L=310m	310m	計画通り実施できた
通生漁港	防波堤 L=160m	160m	計画通り実施できた

3. 地域再生計画に記載した目標の達成状況

	目標	実績値	評価
漁業就労者数の減少を抑える	下津井漁協133→130世帯	116世帯	下津井は予定より下回ったが児島では目標値に達した
	児島漁協200→200世帯	264世帯	
バリアフリー型物揚場整備率の上昇	下津井港20→68%	56%	概ね目標値に達した
安全に係船できる漁船隻数の増加	通生漁港10→69隻	69隻	目標値に達した